

EEM400 医療特論Ⅱ

4年 1,2クォーター

担当教員	長谷川美香, 腰地孝昭, 酒井明子, 磯見智恵, 四谷淳子, 波崎由美子, 繁田里美, 月田佳寿美, 藤井千代美, 栗田智未, 山内順子, 前川委久子
授業形態	講義, 演習
単位数	1
曜日・時限	未定

授業概要

看護学を支える概念の1つである「健康の維持」について、こころとからだ、生活行動、ライフステージ、健康指標などの視点から多面的に理解する。

到達目標

- ・健康に関する定義の多様性について、その背景を理解することができる。
- ・健康に関する行動モデルについて説明できる。
- ・様々な看護局面での健康上の課題について理解できる。
- ・子どもや女性の健康について理解できる。
- ・青年期のこころの健康について理解できる。
- ・喫煙（受動喫煙）と健康障害について理解できる。

先修科目

なし

教科書・参考資料等

指定教科書は特になし。

<参考書>

J. Smith (都留春夫他 訳), 「看護における健康の概念」, 医学書院, 1997

授業の方法

講義を中心に視聴覚教材を用い、グループワーク演習なども適宜取り入れ学生参加型の授業を行う。

成績評価

レポート、就学態度による総合評価とする。再試験は1回限りとする。

成績

レポート	70%
就学態度	30%
計	100%

授業スケジュール

第1回：健康とは（長谷川 美香）

健康の定義と評価について臨床モデル、役割遂行モデル、適応モデル、幸福論モデルを用いて概説し、“セルフケア”と生活様式を重視した看護実践が人々の健康行動にあたる意義について理解を深める。

第2回：家族の健康（その1）（長谷川 美香）

家族の健康、家庭内暴力とは：家庭内での虐待・暴力の実態、暴力が家族の健康に与える影響について学習する。

第3回：家族の健康（その2）（長谷川 美香）

暴力をやめるには：暴力をふるう理由、暴力から逃げだせない理由を考えることを通して、暴力ふるう人、受けている人への対応を学び、家族の役割・健康について学習する。

第4回：災害と健康（酒井 明子）

災害が人々の健康や生活に及ぼす影響について、被災者特性、活動現場特性を踏まえ、各災害サイクルにおける実例をもとに学習を深める。

第5回：看護における健康（繁田 里美）

看護における健康の定義を基に今日の健康状態や健康を育むための看護、健康障害を持つ人への看護について学習する。

第6回：老人看護と健康（四谷 淳子）

ライフサイクルにおける高齢者の特徴を理解すると共に、健康の維持増進のための看護援助や自己管理能力の援助について学習する。

第7回：障害と健康（月田 佳寿美）

人生半ばで身体に障害をもつことで、健康や生活にどのような影響があるのか、身体面、生活面、ライフスタイルの面から学習する。

第8回：成人看護と健康（磯見 智恵）

成人中期・成熟期における生活スタイルや役割、社会情勢などが健康課題に及ぼす影響を、親など身近な成人の生活を通して考える。

第9回：女性の健康（波崎 由美子）

女性特有の健康問題について：晩婚化や晩産化進む時代のなか、将来、子どもを産み育てることができる性と生殖に関する健康の意味を学習する。

第10回：子どもの健康（藤井 千代美）

子どもの健康に大きく影響する社会環境の現状について概説し、少子化社会における子育ての問題点を指摘し、子どもも大人も健康な社会生活を送れるようにする医療人としての取り組みについて理解を深める。

第11回：こころの健康（栗田 智未）

大学というこれまでと違って自主性が特に要求される教育環境に置かれた大学生は、こころの健康の面で変調を来すことが希ではない。大学における心の変調とはどのようなものか、それに対してどのようなサポートが受けられるのかなどについて理解を深める。

第12回：大学病院の機能と責務（腰地 孝昭）

主として高度医療を担う大学病院の役割と体制について概説し、全ての医療関係者と疾患を有する人々が病に立ち向かい健康を取り戻すに必要な知識と技術、また健康回復後の健康維持に向けた取り組みについて理解を深める。

第13回：看護師と健康（山内 順子）

看護職者が働く医療現場の現状を概説し、看護職者が自らの健康を維持しつつ疾患を有する人々の健康回復にどのように取り組むのかについて、大学病院での看護システムを紹介することで理解を深める。

第14回：タバコ禁煙教育①（前川 委久子）

タバコのしくみ、ニコチン依存症とそれ以外の喫煙の身体への影響（能動喫煙、受動喫煙）、禁煙することの効果について学習する。

第15回：タバコ禁煙教育②（前川 委久子）

禁煙治療に関して、禁煙支援の方法、禁煙補助薬の作用と使用方法、禁煙外来・禁煙教室の内容について学習する。

事前・事後学習

予習：該当する学習内容について予習する。／1時間程度

復習：配付資料の理解に約1時間、レポート作成に約2時間